

令和2年10月16日

会員各位

鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

肺炎球菌ワクチンの供給見直しについて

神奈川県医師会を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。
こちらは鎌倉市医師会HPにもアップロードしてありますので、ご確認ください。

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 范 敏

肺炎球菌ワクチン（販売名：ニューモバックス NP）の供給見直しについて

今般、標題について、厚生労働省より都道府県衛生主管部（局）宛て別添の事務連絡がなされ、本会宛て周知方依頼がありました。

製造販売業者によると、令和2年度は昨年度をやや上回る供給が見込まれており、発注量が供給量を上回る場合には、出荷量の調整が行われるとしています。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会及び会員に対する情報提供についてご高配のほどお願い申し上げます。

記

1. ニューモバックス NP の供給見直しについて

【令和2年度9月時点の卸への供給量（）内は見込み量】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2019年度	35.2万本	27.1万本	47.3万本	49.7万本
2020年度	47.5万本	(57.0万本)	(49.0万本)	(54.0万本)

2. 医療機関等の対応について

- ① 必要量に見合う量の肺炎球菌ワクチンを購入いただくこと
- ② ニューモバックス NP の発注量に対し、出荷量が調整された場合には、可能な限り、保険給付の対象者（2歳以上の脾摘患者）及び定期接種の対象者の接種を優先すること。また、医師の判断等により、任意の接種を行う場合にも、ニューモバックス NP の接種歴がない者（初回接種）を優先すること。